

# 暴走 警察の耳

## 大垣署事件と盗聴法拡大



法務省が今国会への提出を狙う盗聴法改悪案。改悪案は、盗聴範囲を広げ、電話会社による立ち会いをなくすという危険な内容です。警察の盗聴拡大など、やり放題を許せば、どんな危険があるのか。岐阜県警大垣署による違法な情報収集から考えました。

(矢野昌弘)

大垣署による情報収集で教えていたのです。は、昨年7月に発覚。風力発電所の建設を計画する中部電力の子会社シーテック(名古屋市)と建設予定地の大垣署警備課課長らとの協議を記した同社の議事録が一部報道で明らかにされ、収集の一端がわかりました。

### 情報集め提供

同署は、風力発電所建設に「反対しそうな」市民の情報を集め、シー社にす



んで教えていたのです。被害を受けたのは、少なくとも個人4人と大垣市内

# 市民運動を「犯罪視」



記者会見する(左から)三輪さん、松島さん、「ぎふコラボ」西濃法律事務所所長の笹田参三弁護士=2014年7月25日、大垣市

の法律事務所「ぎふコラボ」です。養鶏業の三輪唯夫さん(66)と任職の松島勢至(せいし)さん(62)は、大垣署から「風力発電にかかわらず、自然に手を入れる行為(原文ママ)自体に反対する人物」とされました。2人が暮らす大垣市上石津町の上鍛冶屋地区(45戸)は、同社が計画する16基の風力発電(大垣市、関ヶ原町)の予定地の一部。地区では、山頂の開発による土石流や低周波の健康被害を心配する声がありました。自治会長でもある三輪さんは、2013年7月に各

地の風力発電に詳しい講師を招いた勉強会を開催。その内容が、大垣署によって情報収集されていたので、松島任職は「個人的には反対だが、『まずは勉強しよう』としただけ。それを警察が監視するのは、住民運動の押さえつけだ。自分が反社会的なことをやっているように書かれて腹が立つ」と憤ります。

さらに同署は、風力発電と関係ない人の情報まで集めています。ダム建設反対運動などに取り組んでいる近藤ゆり子さん(65)の場合は、「東京大学を中退」などの学歴や年齢を、同署がシー社に教えていました。

法律事務所「ぎふコラボ」の事務局長だった船田伸子さん(58)は、病歴などの機微なプライバシー情報を収集されました。当時、通院中の船田さんを同署は「現在、事務局長は病気のため入院中であるので、すぐに次の行動に移りにくいと考えられる」(14年5月26日)とのべていました。

### 関係ない人も

議事録で同署は「大々的な市民運動へと展開すると、御社の事業も進まないことになりかねない。今後、情報をやりとりすることで、平穏な大垣市を維持したいので協力をお願いする」と、市民運動を「犯罪視」しています。近藤さんは「なぜ、私が出てきたか、わからない。ある傾向の行動や思想を持つ人を狙って、以前から収集していたのではないか」(つづく)

(あすから社会面で掲載します)

(第3種郵便物認可)

# 暴走

## 警察の耳

### 大垣署事件と盗聴法拡大



中

めた法制審議会の答申は、何をもちて盗聴が必要な「組織犯罪」と判断するか、定義はあいまいです。警察の「見立て」でいかようにも盗聴先が広がることになりま

岐阜県警大垣署の不法な情報収集では、4人の市民の動きを「組織的」かのように見立てて、監視下に置きま

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

同署が、こだわったのは、法律事務所「ぎふコラボ」の動向です。議事録では「ぎふコラボ」が三輪唯夫さん(66)や松島勢至さん(62)とつながることに注視

# 情報使い市民色分け

政府が今国会への提出を狙う盗聴法改悪法案は、二つの「縛り」を外し、警察に「使い勝手がいい」盗聴を許すものとなっています。「縛り」を外す一つは、盗聴の際に電話会社職員の立ち会いをなくすること。もう一つは、集団殺人などの4種だけだった盗聴対象を、窃盗や詐欺などの一般犯罪まで広げることです。

## 警察見立てで

今回、盗聴法の改悪を求

めています。

ないか」と指摘します。

「風力発電事業の反対運動に本腰を入れそうである。反原発、自然破壊禁止のメンバーを全国から呼び寄せることを懸念している」(表の②)

根拠とみられるのは、同月26日に名古屋であった中部電力株主総会での発言です。

福井地裁の大飯原発の再稼働差し止め判決への認識を質問した近藤さんは「大垣市民なので、シーテック社の風力発電が気になります」と、一言だけふれていました。

こうして集積した情報で同署は、市民を色分けし、市民監視の口実にしたのです。警察による思想調査に他なりません。

(つづ)



シーテック本社があるビル(名古屋市中瑞穂区)

## ■大垣署とシーテックとの協議の流れ

- 2013年
  - 7月28日 住民らが風力発電の勉強会
  - 8月7日 大垣署とシー社が情報交換(1回目)
- 2014年
  - 2月2日 自治会の総集会でシー社の調査に反対を決定
  - 2月4日 大垣署が2回目の情報交換①
  - 5月22日 県知事、シー社、中部電力に自治会が反対の意思表示
  - 5月26日 大垣署が3回目の情報交換
  - 6月26日 中部電力の株主総会。近藤さんが発言
  - 6月30日 大垣署が4回目の情報交換②

# 暴走

## 警察の耳

### 大垣署事件と盗聴法拡大



①

中部電力の子会社、シーテックの風力発電所計画をめぐり、岐阜県警大垣署が特定の市民の個人情報を集めた事件。発覚から半年がたつとも謝罪すらない県警に、被害者の怒りは尽きません。

#### 住民萎縮せず

上鍛冶屋地区自治会の三輪唯夫会長(66)は「税金を使って集めた情報を警察が一企業に教えるなんて、民主主義の国でありえない」と憤りま

す。さらに、三輪さんは「自治会では、住民の意思を反映して動いてきたし、行政の配布物を配るなど、市のお手伝いもしている。警察に監視される覚えはない」といいます。自治会では、事件発覚後の昨年8月、住民投票をおこな

っています。結果は、シーテックの風力発電所計画に「反対」が多数でした。

任職の松島塾至(せいし)さん(62)は「住民が警察に萎縮しなかったことがうれしかった。おかしいことには、誰もが手をあげて質問できる社会であり続けたいといけな

い」。三輪さんら被害者は昨年7月以降、岐阜県警に「公開質問状」や「抗議・要求書」を提出しています。

県警が11月に出した回答は「大垣警察署員の行為は、公共の安全と秩序の維持に当たるといふ責務を果たす上で、通常行っている警察業務の1環であると判断いたしました」という開き直りでした。法律事務所「ぎふコラボ」の山田秀樹弁護士(56)は「県

# 居直り・無反省・逸脱

警が開き直りを持ち出すのが、警察法2条の『公共の安全と秩序の維持』です。三輪さんたちのところが、『公共の安全』を書するのか。ひどい逸脱だ」と指摘します。さらに三輪さんらは、個人情報の開示請求を行いました。

これにも県警は「警察が特定の個人に係る情報を収集しているか否かが明らかとなり、警察の情報収集活動に支障を及ぼすおそれがある」と回答。情報を持っているかどうかも答えませんでした。

#### OBが再就職

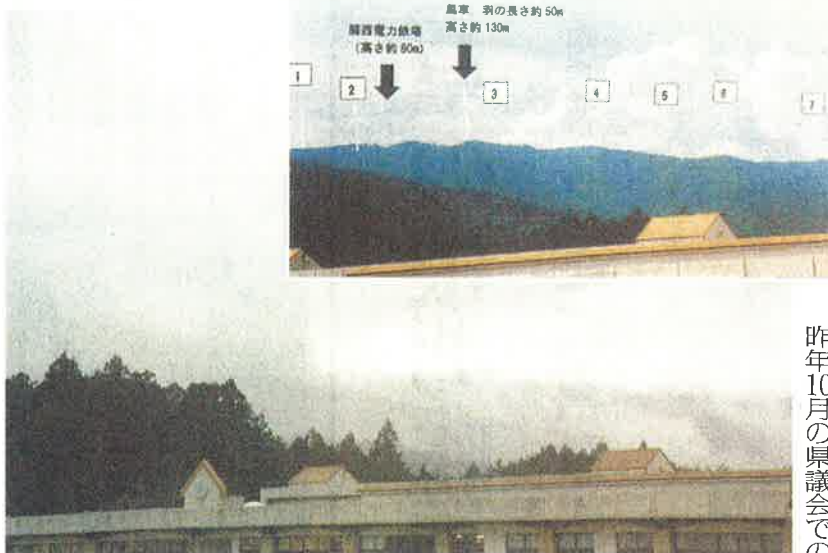
共産党の大須賀しずか県議(当時)の質問では、県警本部長が答弁を事実上、拒否。県議会議長が本部長を注意する事態に。大須賀さんは「事件の背景に、中部電力と県警のなれ合いがある」と指摘します。昨年は、県警幹部が岐阜支店調査役として中電に再就職するなど、県警OBの「指定席」となっています。

被害を受けた船田伸子さん(58)は「何をもって警察が監視するのか、判断基準がわからないし、被害の訴えも無視する。しかも民間企業に情報を流すとは、警察のやることは無法状態そのもの」。

政府が国会への提出を狙う盗聴法改悪法案は、対象を一般犯罪まで拡大し、さらに第三者の盗聴立ち会いをなくすとしています。

不法な活動を繰り返す警察に、密室の盗聴まで許していいのか。監視社会にさせないたたかいが求められています。

(おわり)



大垣市上石津町の多良小学校から見たシーテックの風力発電所予定地(1月撮影)と、シーテック作成の完成予想図(右上)